

科住園島

令和8年度【第7号】
2026年10月1日発行
八頭町役場商工観光室
(0858-72-0144)

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

今年度後半も頑張るぞ!!

長い夏休みもようやく終わり、毎年のよう
にお手伝いしていた宮崎隊員主催のナツキ
チも無事終了。解放感と少しの寂しさを感じ
ながら秋を迎えました。今年のナツキチも普
段学校や家庭ではなかなか出来ないことが
盛りだくさんで、子どもたち同様、私にとつ
ても新鮮な経験でした。夏休みという一生の
内に数回しかない貴重な時間を一緒に過ご
させていただいたこと、全力で一緒に遊べた
こと、本当に私の宝物です。来年のことはま
だまだわからないことだらけではありますが
が、子どもたちとの関わりを忘れずにこれか
ら頑張っていきたいと思いました。

これからいよいよ協力隊としての活動も
終盤に入ります。日頃の活動に加えて子育て
や定住に向けての準備等々、頭がいっぱい
になりそうですが・・・引き続き体調に気を
付けつつ、八頭町での生活を楽しみながら乗
り切っていきたいと思います。

(杉川藍月)



ボルダリング体験
(大江バレーステイ)

夏の思い出

ナツキチが8月末に終了しました。八頭
町の地域の皆さんに支えていただきな
がら、15人の子どもたちと過ごした24日間
は、とても充実した時間となりました。活動
の詳しい様子は随時紹介していきますので
またご覧ください。ご協力いただいた皆様、
ほんとうにありがとうございました。

そんな夏休みの最中、きらめき祭が開催
されました。私は協力隊として、昨年に続き
駄菓子屋のブースを出店しました。当日は
午前中に小学生バレーボールチームの引率
を行い、その後すぐに祭りの準備と設営、さ
らに八東平成太鼓の出演と、目まぐるしい
1日でした。出演を終えて戻ると、すでにお
客さんの列ができており、慌ててお店を開
けました。ひとりばたばたしていると、かわ
いいい応援隊が来てくれました。「いらっしや
いませ」と声を出し、私たちのブースを賑や
かしてくれました。店内は子どもが直接中
に入ってお菓子を並び、レジに持っていく
駄菓子屋方式です。お小遣いを握りしめ「こ
れ何円？」と自分で買い物をします。そんな小
さな体験も、子どもたちにとっては大切な
楽しみのひとつです。ある子は、お小遣いが
少ないから祭りに行っても楽しくないと
泣いて来たところ、このお店なら買える
と喜んでいました。子どもが屋台で買
えるものは限られています。それでも、1人
でも多くの子どもたちに「八頭町のお祭り、
楽しかったな」という記憶が残ってくれた
ら嬉しいです。

(宮崎靖大)



ナツキチメンバーによる
ゴミ拾いボランティア



八東平成太鼓の出演
(きらめき祭り)



駄菓子屋の出店
(きらめき祭り)

クマとの遭遇

夏場の研修では草刈りや梨の収穫技術を教えていただきました。私は生まれたのは鳥取ですが、1歳から9歳までは北海道で育ったので、寒いのは平気です。ただ、暑いのはあまり得意ではなく、炎天下の作業に若干不安なところもあったのですが、まずは無事に休まず作業ができてよかったです。ただ単純な作業を長時間続けているとどうしても途中で集中力が下がってきてしまい、作業の質が落ちてしまうことがあるのでそのあたりを今後改善していきたいです。

写真は研修先の果樹園の脇に設置された檻に入ったクマです。生まれて初めて野生のクマを見ました。小さいように見えますがメスの成獣だそうです。暑さで弱っているのか人が近づいてもとてもおとなしく、怖がったり威嚇したりするようないこともありませんでした。とは言え東北等ではクマが人を襲う事例が多発しているとのことなので、改めて気を引き締め、対策をしなければならぬと感じました。

(石黒達也)



檻に入ったクマ

バイクシーズン後半戦スタート

暑く熱い隼駅まつりが終わったのも束の間。朝晩と涼しくなり、走りやすい気候になってきました。シーズン後半戦のスタートを切るように、令和8年8月23日、隼駅にて来駅証明書の発行イベントのお手伝いをしてきました。この日は「8823」が並ぶ奇跡の年。SNSでも「はやぶさの日だ、隼駅に行ってみようかな」という話題が出ており、隼駅を守る会・交通安全部を中心に来駅記念証を当日限り発行する運びとなりました。私は当日の補助と合わせ、PR用ポップを制作しました。当日は朝9時からバイクが集まり、最終的には70部ほど発行しましたが、来駅された皆さんに楽しんでいただけました。また別の機会を狙って、記念証を発行出来たらと思います。

このほか、9月は「世界アルツハイマーデー」に合わせ、そのシンボルカラーであるオレンジ色の隼グループの並走イベントや、9月23日を「黒ブサの日」と称して黒色の隼を中心に町内を中心に周遊するイベントが、県外のライダーさんを中心に企画されています。感謝の気持ちを胸に、継続的に八頭町内を楽しんでいただけるよう、サポートしていきたいと思っています。

(谷内口瑞月)



担当課より

暑い暑い夏もようやく峠を越え、過ごしやすくなったように思います。実りの秋を迎える中でフルーツの里・八頭町は農業を中心に慌ただしくなります。「せわしなさの中でも収穫があり、嬉しさを感じる」隊員の方にはそのような体験をしていただければと思います。(田渕)

隊員からお知らせ

ナツキチ 2026 の詳細は Instagram 【@miyakki82】 で発信中。

八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。